

スポーツで「幸福」に

公益財団法人
武蔵野文化生涯学習事業団理事長 竹内道則



昨年4月に武蔵野文化生涯学習事業団理事長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

日頃から、武蔵野市スポーツ協会の皆様には、体育施設の運営や当事業団主

催の事業へご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、Well-being(ウェルビーイング)という言葉が頻繁に見聞きするようになりました。大意は「身体的、精神的、社会的に良好な状態であること」ということです。教育や福祉の分野では、様々な施策の取り組みで市民等のウェルビーイング向上を目指すものとしてすでに定着しているところですが、昨今は経済紙においても、企業経営で顧客や従業員のウェルビーイングを目指すという趣旨で紹介されるようになりました。良い状態であることを、幸

福として解釈する見方もあります。

スポーツは、身体的な良い状態とはとても相性が良いですね。年齢を重ねても、定期的にスポーツに親しみ、健康を維持されている方が多いです。

更に、スポーツが精神的な状態について良い効果をもたらすことも明らかになってきているようです。民間団体の調査ですが、一日15分9秒(以上)の定期的な運動がメンタルヘルスに効果があるという結果も発表されています。運動によって気持ちが良い、さわやかさを感じることは体感的にも感じるところですが、1日に15分程度なら、無理をせずとも習慣的に取り組めそうな気がしてきます。

スポーツを通じたつながりは、運動を続けるためにも大事な要素ではないでしょうか。仲間と一緒に汗を流す、スポーツに親しむこと自体が楽しいですし、チームスポーツは一人ではできません。スポーツをすることで紡がれる社会的なつながりはウェルビーイングの目指す「社会的に良い状態」であることにも通じます。まちづくりで目指す、良好なコミュニティはそのような社会的なつながりの集積ではない

でしょうか。良好なコミュニティや高い暮らしの満足度は「幸福」とも仲がよさそうです。

市のスポーツ推進計画では「市民の誰もがスポーツを楽しみ豊かな生活を送り続けられる 武蔵野市」を基本理念としています。これは、スポーツを通して人と人とのつながりを創出し、仲間づくり、地域づくりへと発展しながら魅力と活力があふれる持続可能なまちを目指して掲げられた理念です。

当事業団では、総合体育館、陸上競技場、市営プールをはじめとした体育施設を指定管理者として運営しておりますが、このスポーツ推進計画で掲げられたスポーツを通じたまちづくりともいべき理念の実現を常に意識しながら、今後も市民の皆様がより一層スポーツを身近に楽しめるよう運営してまいります。

平成元年に建設された総合体育館は基幹的な機能を維持していくために、大規模な修繕が必要な時期に入ってきています。令和9年4月から閉館をして16か月かけて修繕工事を行います。また、屋外プールを含めた市営プールは、建て替えをしてバリアフリー等の様々な課題を解決していくこととなっております。その後には市民の皆様には、より安全で快適にご利用をしていただけるようになりますが、工事期間中には一定の影響が避けられません。当事業団としては、市の体育施設の指定管理者として、影響をなるべく少なくすることや一部代替の事業の実施など、検討をしておりますので、スポーツ協会の皆様の絶大なご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今後の武蔵野市スポーツ協会のますますのご発展、関係各位の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

スポーツの多様化について

一般社団法人
武蔵野市スポーツ協会会長 秋本 清

2024年7月26日から8月11日まで第33回夏季オリンピック競技がフランス・パリで開催されてから8か月余りがたちました。

パリオリンピックでは32競技329種目が行われ、日本は金20、銀12、銅13合計45個のメダルを獲得しました。

その中でも、アーバンスポーツであるブレイキン女子で湯浅亜実選手、スケートボードでは堀米雄斗選手が大逆転で金メダルに輝いたことはまだ記憶に新しいところです。

スポーツも社会の変化と共に多様化しています。エクストリームスポーツと言われる競技があります。バンジージャンプやスノーボード・ボルダリング・サーフィン競技など、大自然の中で急斜面を下ったり、速さや高さを極限まで追求し過激で華麗な離れ技を競うスポーツです。

エクストリームスポーツのなかでも都市で開催できるのがアーバンスポーツです。パリオリンピックでは、アーバンスポーツとしては、アメリカが発祥のブレイキンやスケートボードを始めスポーツクライミング・自転車BMXフリースタイルなどの競技が行われました。これらの競技は個人競技が主体ですが、例えば

インディアカ・ソフトバレーボール・ユニカー・ターゲットパードゴルフなどのニュースポーツは団体競技が主体となっています。

メジャースポーツである野球やサッカーなどと違い、ルールがやさしい・適度な運動量・男女や年齢によるハンデが少ないなど、子供から高齢者まで、また障害の有無にかかわらず皆と一緒に楽しむことができます。

生涯スポーツを推進し、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにするものとして全国各地域で盛んに行われています。

2028年のロサンゼルスオリンピックでは、新種目として日本のテレビ番組である「SASUKE」を基とした障害物レースが採用されます。

このように、今後増々色々なパフォーマンスを表現するスポーツが考案されると思いますが、それは健康で豊かな人生を楽しむ一助となるのではないのでしょうか。



東京都 スポーツ功労賞表彰

剣道連盟 齋藤秀夫

この度、スポーツ・レクリエーションの普及・振興に顕著な功績があった者として、東京都スポーツ功労賞を受賞いたしました。皆様のご指導・ご支援の賜物だと心から感謝いたします。



平成3年に剣道連盟に加盟したことを機に地域社会との繋がりができ、現在は剣道連盟の副会長兼理事長やスポーツ協会専務理事を務めさせていただいておりますが、続けてこられたのも皆様のお陰だと思っております。

今後も剣道の指導・普及やスポーツ振興に尽力し、様々な課題に取り組んでいきたいと思っておりますが、社会教育委員としても武蔵野市が取り組む「学びおくり」にスポーツを通じて貢献していきたいと思っております。

これからもご指導ご協力よろしくお願いいたします。

武蔵野市 スポーツ協会表彰

卓球連盟 細田明子

この度は卓球連盟の推薦で武蔵野市スポーツ協会から表彰して頂きまして誠に有難うございました。

子供の頃に親しんだ卓球を30年余りに再開して、武蔵野市の整ったスポーツ環境と多勢の仲間の皆様に恵まれて今日まで続ける事が出来ました。この幸せな巡り合わせに深く感謝しながら、これからも卓球を愛する多くの皆様と元気に明るく楽しく練習を続けたいと思います。

水泳連盟 井上 明



この度は表彰いただき、ありがとうございます。

1990年に横河電機入社と同時に横河電機水泳部に入部、水泳部が加盟している武蔵野市水泳連盟の一員となりました。

以来、市民大会の競技役員や水泳連盟理事等に携わり、市民水泳の振興の一助となるよう尽力してまいりました。

水泳連盟関係者他これまでお世話になった全ての方に感謝申し上げます。

昨年末に定年退職し、今年からシニア社員になりましたが、引き続き尽力してまいります。

スポーツ少年団本部 角野八重

この度は武蔵野市スポーツ協会表彰を頂きありがとうございます。

この様な形で表彰を頂き、少しでもスポーツ振興のお手伝いが出来たのかなあと、評価頂いたことを嬉しく思います。

今後もスポーツ少年団の皆様に支えて頂きながら、微力ではございますが、スポーツ振興に協力していけたらと思っております。

武蔵野市スポーツ協会のご発展をお祈り申し上げます、またスポーツ少年団の活動がより活発になる様にお力をお貸いいただければと存じます。

合気道連盟 内堀克彦



武蔵野市民への合気道普及を目指し合気道教室を先輩達が築いてから早や30年が過ぎました。その手伝いに携わることが出来、更にこの度の表彰まで頂けたのは、武蔵野市、スポーツ協会、文化生涯学習事業団並びに合気道連盟所属団体の皆様のご理解とご協力あってのことと深く感謝致します。

体の続く限り教室の皆様、協力者の皆様と精進を続け、市民スポーツの振興に励みますので引き続きご指導ご協力お願い申し上げます。

ウォーキング協会 長谷川善三



この度は武蔵野市スポーツ協会表彰をいただき有難うございます。

2004年に入会、ウォーキング指導員資格を取得、歩き方の基本技術やマナーを学び多くの参加者に指導実践して大変喜ばれました。

事業、広報担当を経て2018年に会長として創立20周年記念式典記念ウォークを実施、記念誌発行をしました。

コロナ禍以降はウォーキングスタイルも変化して、団体歩行から少人数のウォークと数よりも質の時代になりましたが、健康に最適なスポーツとして更なる振興に努めてゆきたいと思っております。

水泳連盟 W・Fクラブ



先日は名誉在る賞を頂きまして誠にありがとうございます。

団体として活動をはじめて早くも20年余りが過ぎ、その時々団体のメンバーの入れ替りがあったり世相時勢により団体の活動内容が多岐に渡ってきました。

その様変わりつつも根底に『水泳が好き』の思いをどのメンバーの方も持ってくださったから、今日まで活動を続けて来られたと有り難く思っております。

これからより多くの『水泳が好き』な仲間を増やしていきたいと思っております。

バレーボール連盟 金廣祐介



この度は武蔵野市スポーツ協会表彰をいただき、ありがとうございます。

大学生の頃より審判員として活動し、諸先輩方や周りの皆様のおかげで今日まで活動を続けられました。

おかげさまで国際大会に関わることができ、東京オリンピックにも審判員として参加することができました。

今後も連盟の活動を通して、市民スポーツが盛り上がるよう、これまで培った経験を市民の皆様へ還元できるよう努めて参る所存ですので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

サッカー協会 福田耕三



この度は、武蔵野市スポーツ協会表彰をいただきありがとうございます。

1985年武蔵野市サッカー協会少年部(U-12)が発足し、手作りの市内大会などを企画・運営してきました。

当時、陸上競技場の真新しい芝生で夏季大会を行い、子供たちの躍動するプレーに感動した印象が残っています。

ここから歴史の1ページが始まりました。これからも青少年の育成と地域貢献を理念として、サッカーが益々発展することを願っています。

第37回

市民スポーツフェスティバル

10月14日(スポーツの日)に第37回市民スポーツフェスティバルを開催しました。

天候にも恵まれ、多くの市民の方に楽しんでいただきました。

第38回は10月13日(スポーツの日)に開催を予定しています。皆様のご来場お待ちしております。



バドミントン



モルック



ラグビー体験



走り幅跳び